

阿賀町地域公共交通網形成計画（案）についての
提出意見の概要とその意見に対する回答

資料1

1. 意見募集期間 平成30年2月15日（木）から平成30年2月28日（水）まで
2. 意見提出者数 7名
3. 意見提出件数 18件

整理番号	項目	意見の概要	意見に対する回答	修正の有無
1	二次交通	阿賀町の公共交通網の幹線のひとつであるJR磐越西線や、魅力あるSL列車の運行を将来にわたって維持するためには、住民の方々の利用とともに、阿賀町への来訪者の利用増を考える必要があると思います。住民の方々の利便性を考えることは当然と思いますが、JRでの来訪者にとっても利用しやすいバス運行の仕組みとなるようご検討をお願いします。	第5章の施策5、事業5-1では、SLばんえつ物語号を利用して来町する観光客向けに、観光地を周遊するツアーを企画することを記載しています。ただし、詳細な内容までは現時点での資料には記載しておりませんでしたので、今後実施を予定しているツアーの内容（行き先）を追記します。	有
2	高速バス（新潟・会津若松線）	高速バス（会津若松線等）について、新潟～津川間のみでも乗車が可能となるよう事業者への働きかけをお願いします。	廃止になった高速バス路線「津川・上川線」の代替案として、会津若松線の町内での乗降について事業者と協議した経緯があり、現状のまま運行することで調整ができたことから、今回の計画には当該路線に関する事業の記載はしておりませんが、今後の阿賀町バスや鉄道の利用状況を見ながら事業者への働きかけを検討します。	無
3	高速バス（阿賀町バス）	新潟市内の病院へは、予約制にして一日二往復程度に増便してほしい。その都度臨機応変に対処してもらいたい。	利用実績をみると、毎日必ず利用者がいることから、現状では予約制の運行を想定していませんが、今後は利用状況をみながら運行形態や運行頻度を変更します。	無
4	利用環境の整備	停留所を増やしてほしい。（田町・伊勢宮橋など）鉄砲町や上ノ山方面の人々のためにも。	第5章の施策9、事業9-1では「停留所の設置」を記載しています。今回のようにご提案があった場合、道路管理者及び公安委員会と協議の上、停留所の設置を検討します。	無
5	統合バス	福祉バスと路線バスを一緒にして有料にする。	第5章の施策1、事業1-1において「路線バス、福祉バス、スクールバスの統合路線化」を記載しております。津川地域の中心部では、種類の異なるバス路線がほぼ同一の経路を運行し、競合していることから、ご提案のあったとおり、これらの路線を統合し、効率の良い運行を目指します。	無
6	運転免許返上について	自家用自動車運転免許の返上した場合の見返りは早急に検討してもらいたい。（バスのチケット配布など）	第5章の施策6、事業6-3で「高齢者バス回数券購入費補助」を記載しています。本事業を実施することで、高齢者が運転免許証を自主的に返納しやすい環境作りを促進します。	無
7	利用環境の整備	停留所の設置が困難な場合、手を挙げて乗せてもらう方式（フリー乗降）など、テストとしてやってみては如何か。	アンケート調査の結果から、路線バスと福祉バスの利用者は、利用環境に対する改善要望が多く、特に福祉バス路線については停留所を設置していない箇所があるため、利用したくてもどこで待たばよいか分からない住民が多くいます。以上の理由から、本計画では停留所の設置を優先して実施しますが、今後、利用状況に応じてご提案のあったフリー乗降区間の設定を検討します。	無

整理番号	項目	意見の概要	意見に対する回答	修正の有無
8	統合バス	①福祉バスが無料であるために路線バスがあるにもかかわらず嫌っていたのは事実。有料にするのは当たり前。 ②予約制にするのであれば地元タクシー業者の乗り合いタクシー制もありでは？ ③路線バスの運行していない区間の町民が使用した場合、町で半額補助等。	①については整理番号5と同様の回答です。 ②第5章の施策2、事業2-1では予約制の運行の導入を事業として記載しており、移動需要に応じて車両の大きさ（バス、タクシーなど）を設定します。 ③ご提案のとおり、乗り合いや乗り継ぎが発生する場合は運賃を低減し、抵抗を軽減するとともに地域間の公平性を保つような料金設定とします。	無
9	スクールバス混乗	①小学生・中学生・高齢者の三者が同じバスに乗車することを不快に思う親がいるかもしれない。 乗車している人全員の目的地が同じ津川方面である以上、全員が乗り切れるかどうか問題。 ②小中学生の通学でのJR利用も検討の余地あり。中学生も5km以内は自転車通学してほしい。小学生のバスも学校の前まで行く必要なし、1km以内だったら歩けばいい。	①ご指摘のとおり、スクールバス混乗については、地元住民及びPTA相互の意見を十分に取り入れ、調整する必要があると考えています。地域住民の利用については予め利用者の身分を明らかにし、かつ車両定員の管理もできる様、予約制の導入等を検討します。 ②スクールバス混乗事業との調整もありますが、ご提案のとおり、鉄道利用の通学は効率性の面だけでなく、小中学生が公共交通を利用して通学することで、自家用車以外の移動手段として改めて認識し、将来の利用に繋げる利用促進の面も併せ持っていることから、関係部局やPTAに積極的に提案していきたいと考えています。	無
10	待合環境の整備	路線バスを活用するにあたり、町でバス停の待合所を積極的に整備してもらいたい。	第5章の施策8において、バス停上屋やイスの整備、町内施設を利用した待合所の整備を記載しています。特に、乗換拠点となる日出谷駅や上川支所については積極的な整備を実施することから、この件について追記しました。	有
11	高速バス（阿賀町バス）	長期的な継続になるよう支援して頂きたい。新潟駅や万代へ行きたい人はJRを使えばいい。	ご指摘のとおり、各交通手段の役割分担を適切にしながら、高速バスについては長期的な継続になるよう、今後の利用実績を踏まえ、利用者のニーズを運行に反映し、維持に向けた取り組みを行います。	無
12	二次交通	車で訪れない人の大半はSL（鉄道）で来ることになるので、各観光施設所有のバスを自社周辺の観光用として津川駅に数台ならんでいたなら、観光客は好きな観光名所へ連れて行ってくれるバスに乗ることもできると思うのですが…土日祝日の繁盛期に各社に協力してくれるかどうか？	ご提案いただいた観光施設所有のバスを用いた観光地への周遊は、道路運送法により実施することはできませんが、整理番号1の回答と同様に、観光地を周遊するツアーの企画を実施することで、観光客の移動手段の確保を行うことを予定しています。	有
13	待合環境の整備	上川支所で乗り換えは、足も悪く買い物でたくさん荷物を持つので大変。なるべく待ち時間を無くしてほしい。また、上川支所を乗り継ぎ拠点にするなら、待合室のようなものを整備してほしい。	整理番号10と同様の回答です。	有
14	待合環境の整備	カラオケに待合室があるが、混雑するため既存のスペースでは足りないので整備してほしい。	第5章の施策8、事業8-2において、「町内施設を活用した待合所の整備」を記載しており、住民が訪れることが多いカラオケなどの商業施設や役場などの公共施設を活用した待合所の整備を実施します。	無
15	統合バス	バスの乗り換えはまだ若いから問題ないが、料金が発生するのは困る。出来るだけ安くしてほしい。	整理番号8の③と同様の回答です。	無

整理番号	項目	意見の概要	意見に対する回答	修正の有無
16	スクールバス混乗	混乗することで経費削減などに加え子供たちが社会経験を積めるという利点もあるので良いと思います。(小中学生は普段公共共通機関を利用するということがないので)ですが安全面など保護者から賛否あると思います。現在もPTA等が入り学校統合に向け通学方法の検討会も行っているようなので、実施の際は保護者への詳しい説明が必要だと思います。	整理番号9の①と同様の回答です。	無
17	統合バス	現在無料の福祉バスについては少しでも良いので運賃をもらうことが適当と思います。	ご提案いただいたとおり、第5章の施策1、事業1-1において記載していますが、運賃は効率性の観点から原則有償としています。	無
18	スクールバス混乗	スクールバスの統合は慎重に。特に児童数が少ない路線において、運転手1人体制で誰でも乗車できる(地域住民と地域以外の人を見分けは?よからぬことを考えている人が乗ったときの対応は?)状態でのいいのか。	整理番号9の①と同様の回答です。	無

※意見の概要は、趣旨を変えない範囲で一部表現を改めている箇所があります。